嵐山巻ノ九計
一冊五
二十六
へ13
3322
13

へ13
3322
13

かゝほんや人目でまで
めをくらう

大正十年八月廿九日寄贈
本大學出版部

慶應義塾

昭和参拾弐年参月廿五日
図書

一　清右衛門新右衛門紙屋の出来

一　西人古高新左衛門杉江平左衛門
新の中の中

嵐山巻物巻之廿五

清水所新所紙屋日の出屋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

にほんのかくれなき君人とよばれ玉ふ
ほうらんてもなくてはかなはぬもの
なりいにしへの御代は誰人の中に揃ひけるぞ
目出たしや君人ならではいはんや武列
十四代々まてうまんならし給ひて
義のの助けふしんなる恵傷ともなる鄭よ
揮をは法をもつて丈夫なしとて家の
半時ほど夜をあかすひくらし何ぞや

目出たき昔は大臣とも誰ふしんしあけをき
およふこと給はり今日よりは老若と
孫子から年始ふえをよろこびて今も
ちりくとも宅へいたらせ給ふとほへ庭
頼ぬひゃくん和して日の手の在家つて
よろこびつれてかほ中人ぞたうしほの
ちらる気くと合うて鶴亀よ佳則
おもむくもりあしからず衆生の至

よそへも済候所にとかくつけくらへらる事あらう
なげしや恩人にて酒よりあつかいも
いかなるものにて候へば来りていかに事や
ほどの所へ参り候かい總あるも事にて候
あまりの手前ともには十月のうちにまいりあんどしうちの出
病気にて仕かけるは逢中うちの日の出
所へ露ゐそうに来りて立ち入候へは何事か
ころもの人にて参りて時にいふへく候

給殊の外よしとの事にて後別にまいる
けんと仰なして別にまわりしてそこまで
露深くお帰り入り候を同じくして御中にてゆるやかにお参り
御身にならはれ候事の事の縁にまゐり
ことに女のことに仰付けられて御中へ酒肴と
いかにも主婦にとりたて給ひ候て我別に申したの
一筋其のかけは大恩とも申すへく候わね
ひとつてもさらに事かなし何年ひとつもらひ申候

[illegible]

[illegible]

十二、七[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

男より主婦はすなはち家の内を治め候
二条は直に母の上を人々をさまつる何事の筆
いよいよもなくおほよそにしして人生
まくらまで織をまでもくなる殿をはなくし
世俗においてはかねて霊気いこまき
初て庶子もかへりて直参をまとる
このみまさに清きかたにおはします
先年二人の家来こまごまと出しをかへりて

志ゆしくは味くさとしきかりきとつかまつる
両知行し足合せきこゝで料をつかまつり安堵し
たゞちにまたもてくして本国へかへる
とかく是御入道あまた なほ松平右京亮
候へくとおもふてわれはこの所へ露を
摂将しまつる
松平右京新を右衛門尉
恐惶謹言

斧

斧の彫しの事

識者此自成自成己而所以物之成己
仁成物知の形くして事人くはさくるありて指は
平なる平御しく清く流る中そそとし
宗源よりわりきちりうそそね権との大寿等
行りるも皆者りきつしかげきさ結合たぶ
置ようりうれと気よとも彩ら荒母と
濃くりしくほそ[illegible]りく金のとよりく都る

登り洪稿の香浮くそよりく将軍ふ
そりか絶よ天てりしくしくほそまつくそくか擁
に於稲りうしけ形くも少中小姓の列くり
於らりか年にあり宗源の店中く大悪く母まつ
りもまやく[illegible]則ち荒母もあふ存ゑ御う
主ひ西宇りしもでうくそしのくしくたりくそくと
旅して迹まくりる本自形く宿こそくく死く
そそくしのも宗源のうそ宿まくりのむ作う

深縁りてれしわかくく栄花身の上り
三京信りよりてもしよりたちられ
あくるの所漂泊して一夕はづけは生國
八町堤としこしけるとあゆくた別れ
堤の中に将軍家へ三所の奉行とする
つゝ中くろまき人宗所出て来るし
しころわり稲もしの花より曲もの あくいま
出馬士と切郭し宗所と呼ひてくしい

所々三所の奉行とうぞりんしてうるる
曲へ曲ものと呼ひもりんてしよ曲もの
切りてよ曲へ信り石銭ひして跡しも
打より又人日あれかくしとし危しく
三係てそのやみたをりくるしへ行
りとへしかの曲ものとくもひとしくる年
もうの胃とはくしてし一命と助りのみ
人まありく浮くとのへくといりのひしく高よ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ほん朝にかくれなき先祖は桓武天皇より
五代の皇子一品式部卿葛原親王の後胤三浦
大介義明の嫡男杉本義宗の長男浄念法師
の別當和田小太郎平義盛の末葉しかも細
かつて伊勢左衛門尉に山城の三左衛門の子孫として
しかも元は和田の末にかかる高名桜本しき祐定
又は桜本多人とならひなきをもて桜本
清三郎平の一流とかかる此新三郎年と

義をもつてひそかにいひ出しけるに所存の内
ようてる和田の九十三騎の一族のゆかりを
むかしく同姓もこあけなりけり松本の家
にもめでたく其身のしるしをかけおもてむきを
みまさけ将軍家へ慥なる仁のよし由つたへ
かつゆるあり彼もすぐれたる目出度そうら
うらみても清房ともにたまはせて
そう後は不忠気に家卿へつけら

悩しく着と結ひ天下樹のうへかみ陀
如くあやのうつりかはる三宝いきやうあん
あさましきしく三宝若ゝ不老の本あかず
悩ゆうしうつしと音通なくと千の火
おしく人や悪人こゝへくとく亀ゆく角は悉く念のこん
にけるせん[illegible]しくあしくしいふく白人
そうこしいしく香ゝしく餓鬼のまゝりてよゆゑ
こゝく一心のありて異あ入りくく

絲まかるし新の所くもよわよ様物
ともしんし露[illegible]の夫婦ゆ淨所の本性あり
さもあんしんとするし天田川の酒まゝく
類[illegible]のことく天の恵けよりその傳と
さらに出て物別ましきせしこうもうせし
天の恵都と帰しいうかもそれまてに人のから
なりしこうかいまよもひしたらし[illegible]
たうちんけしくしく深きあるあしくるあ

女房ましらいてしもとめも砌にそでまと
よりつきてと珍重なまうしけるに
花に狩侍て汲て御よ句ひよろいろく
こけて夜中将さのこや四季百花
さて鶯梅の尾乃まとらいの花の花
以後の武士何となふしく一花のまとら
のかよ酒くてくりして我とる武士の花
とうけ気てつ若者の人御と迷あけ

とききそ人の武士こそ花扇の侍と
思ふくすけつ弟子とあたりし縁して
いくつくくりかへる花夜中将さ女は盛は
ましても程なり抱へすすてけ
て酒をるこの露はしゃや手本にて
そのいくいたるならう
絶てしらぬ我と梅の尾や
紅ふるまてく濃花もなし

しかるに源頼朝将軍家の末
右川の光華清左つよのゝ子なり今は部
北条の人氏のへ縁りたりの者と申すも楽しむと
その前はあしく成ふてる多人の前りて
いら千しく楽からしめ風情ありもあらそひて
ものゝ事とても誰もしてけるりけと候ら
より源氏の氏となり文はしつかに平
もとすゑのうらみをこゝろのうちにふかく

新る人なりし是は鮑結の子孫也今我ものと
ねむりて候しあるべくいてし将軍家へ
つかへ奉りて年へしかくしんといかにも
さわる折ふし平の宿縁にて平家の末をけ
そうにんありけるの國中を通り廻りし西へ
河内の國金剛山の一城をかまへ其の
時節をまちけるに都よりの都へいさ
らんとて打立郡の鎮將たゝかふにん軍

しく勝利をえ……其時六

の英雄……

數しらず……将軍……

いかなる英雄……

……

嵐山秀緒巻之廿五終

[illegible]

月録

一 [illegible]

一 [illegible]

嵐山参詣対参女之、

将軍義澄之様未法之御

行列無之事

佛も松の年をかぞへ初めしより七十

書と明日四つ時に行列へ出で出陣と

おぼしめしいそぎ給ふ所のすがたと

心猛の心地新しきうらめかしさ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

行舘明日

[illegible]

梅木清左衛門

一房刑

[illegible]

一首の哥あり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一後醍醐天皇の御代に楠正成と申す者
出来て十九年の間の事ども
有増申すべし
されども人物の事
楽しき世なれども
武道の人
和らぎ
海内の英雄
河内の金剛山のふもと
にて

人々あり
金剛
山の麓の人の
の砦の
の
金剛
の
の
の
楽しき
国

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

箱根湯本

[illegible]

清らと物[illegible]

[illegible]

新[illegible]

[illegible]

[illegible]

西へ[illegible]の御[illegible]軍[illegible]蔵あり
[illegible]京つくりうんうん
[illegible]○こうけまく
[illegible]人[illegible]せて中
を揚げん[illegible]けてしくして
[illegible]おの音ひ[illegible]
逢中てはれ[illegible]中せる夏
なりわれ[illegible]京とよ[illegible]

義春[illegible]と[illegible]○[illegible]
[illegible]将軍[illegible]せる[illegible]
[illegible]義[illegible]京[illegible]中[illegible]京[illegible]
けるも　御ふ裏の[illegible]
[illegible]○[illegible]
義春[illegible]京[illegible]
[illegible]
[illegible]京[illegible]の御軍[illegible]

二人将軍ハ天ノ三ツノ男ノ子ニ二人ノ子
なりしかハ日ノ本ハ神ノ国ニ
ふんべんこと平あらんものを
法ノ師ハ大ノ法ハ天ノ子
ハ法ハ師ハ法ハ
くらうしてハ一ツ
ひのもとの法師

有ハ法師ハ法ハ
ハ法ハ師ハ二人ノ子ハ
主ハ法ハ師ハ
法ハ師ハ
平ハ
ハ法ハ
ハ法ハ
ハ法ハ

嵐山琴瑟対琴世六段